

一般質問

「ここが聞きたい これを言いたい」

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

ズバリ
直言

7 議員が登壇

町政を問う

質問者、答弁者それぞれ30分以内の制限時間。
議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。

一般質問事項

質問者	件名	頁
田境 毅	1 避難所への先を見据えた手当を 2 身近で感じる不安払拭の対策を	5
都築 一三	1 竹林の手入れを高齢者の協力で 2 伝統的物産の活性化支援を	6
水野千代子	1 通学路の危険箇所整備を急げ 2 学校給食費の無償化を	7
足立 初雄	1 常時相談できる体制の構築を 2 特定不妊治療の助成制度導入を 3 安心して免許返納できる施策を	8
丸山千代子	1 学校プール運営基本構想の目的 2 地域密着型特養ホームの増設を 3 総合事業の充実と体制づくりを	9
鈴木 久夫	1 災害に備え防災リーダー配置を 2 安城蒲郡線の事業再開の考えは	10
伊澤 伸一	1 野場1号線を先行整備すべきだ 2 永野1号線の早期改良を	11

※3件目以降の質問は、要約を掲載しています。

一般質問

たきょう つよし 議員
田境 毅

問 避難所への先を見据えた手当を

答 予算づけをして整備を行う



通学路の安全対策を（野場地内）

各地で被災され、未だ避難所生活を余儀なくされている人達も多い。

安全は「すべてに優先するべきもの。防災対策の強化は住民ニーズに添えられていない。公助、自助共助、協働し令和も安全安心な災害への備えを問う。

避難中も安心な環境の充実を。

答（総務部長） 本年度に全小中学校の防災倉庫に、屋根付ファミリーホー

ムを2基ずつ備える予定。

問 避難所への先を見据えた手当を。

答 地区の要望をうかがい、予算づけをして、整備を行う。

問 避難所建物の数と耐震状況は。

答 避難所として7カ所を指定している。耐震状況は、全施設が耐震基準を満たしている。

問 避難経路の整備状況と

今後の計画は。

答 避難経路の危険チェックを含めて、各自が実際に歩いて確認する。地域の防災訓練、町の広報などで防災意識を高める。

問 避難指示の伝達方法や他の自治体事例を参考に、日本語以外も周知に、日本語以外も周知検討を。

答 西尾市の情報を確認の上、参考にする。

問 身近で感じる不安払拭の対策を

答 安全対策に努めている

地域では屋外で遊ぶ多くの児童の姿、注目される歩行者への安全対策。中でも弱者への安全確保は重要。風水害リスクの高い季節、安全対策の周知、通学路の児童の安全、風水害の備えを問う。

問 災害が懸念される河川

や山の斜面周辺の通学、通勤路の課題は。

答（教育部長） 4月に学校・地元により危険箇所を点検し、63カ所を抽出し課題の整理を進めている。

問 対策の今後の進め方、地域住民への周知、吸い上げる工夫を。

答（建設部長） 昨年度、民間ブロック塀などを点検し不備の物件には、所有者へ安全対策の啓発を行っている。また、幸田町交通安全プログラムで抽出した問題箇所の情報を発信して、危険意識を共有。

問 公園や住宅地での身近で感じる不安払拭の対策を。

答 現在、舟山の急傾斜崩壊対策事業、通常砂防事業拾石川水系大坪が県で取り組まれ、安全対策に努めている。

問 菱池遊水地が安全で住民に喜ばれる施設として有効活用を。

答 遊水地は、平時は幸田町が管理するので施設配置には、河川管理者と調整し、今後の施設計画をする。